品川シルバー大学同窓会
会報
2026年5月20日
第121号
SHINAGAWA silver university an alumni bulletin
品川シルバー大学同窓会 事務局
TEL 070-4390-3258
ssu.dosokai.jm@gmail.com

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com（問合せ080-6634-6797）

第27回定期総会

日時：2026年4月24日（水）
14：30～15：50
場所：中小企業センター3F 大会議室
出席：42名（出席者：20名+役員16名）



1. 開　会

司会の矢野事務局長より開会宣言がなされた。

2. 会長挨拶

皆さん、今日は！
本日は品川シルバー大学同窓会第27回定期総会にお集まりいただき有難うございます。また、来賓として日頃お世話になっております区役所の大森文化観光戦略課長、菊池生涯学習係長にご出席いただいており、厚く御礼申し上げます。
ここで少し昨年度を振り返ってみたいと思います。定期総会を４月25日に行い、その他の行事、見学会、講演会の実施や６回の会報発行は皆様のご協力も得て計画通り実施出来ました。５回の講演会と６回の見学会には、延べ1,070名の会員の参加を得ました。
今年度につつきましても例年通り毎月１回の見学会か講演会と年６回の会報発行を予定しております。会員の皆様には多数の参加を期待しております。これにより当同窓会の目的である「生涯学習を通じて豊かで生きがいのある生活の創造」に少しでも寄与できればと思っております。
会員数につきましては、今年度当初は397名です。2016年度の466名には及びませんが330名台のコロナ禍の時期に比較するとかなりの回復となっております。又年会費につきましては今年度から年2,000円を2,500円に増額させていただきました。コロナ禍以降同窓会の決算は、郵便料金や諸物価の高騰などでほぼ赤字続きでしたが、それを2020年度のコロナ禍ですべての行事が中止に追い込まれその際生じた繰越金で補填してまいりましたがそれも限界に近づいたため大変恐縮ではございましたが、昨年度総会で本年度から年会費の500円増額をお願いいたしました。これにより同窓会の運営は赤字決算から脱し安定的、円滑に行うことが可能となりましたが、もちろん、従前にも増して会の効率的運営に努めることは論をまちません。
本日の総会では、昨年度の実績や今年度の計画、役員の選出などについてご審議いただきますが活発なご議論を頂ければと思っております。
最後に、同窓会の益々の発展と充実のため、会員の皆さま、区役所はじめ関係機関の皆さま、よろしくご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げご挨拶と致します。有難うございました。

品川シルバー大学同窓会会長　保坂駒雄



大森課長よりご挨拶をいただく



菊池係長よりご挨拶をいただく

3. 来賓挨拶

来賓としてご出席頂いた文化観光戦略課の大森課長より、同窓会は2000年発足して約４半世、コロナを乗り越え創意工夫のある活動を続けていることに感謝している。このような同窓会の存在は他区ではほとんどなく、区の誇りである。区はシルバー大学に力を入れ、その後は同窓会に多くの人が参加してほしいとのお言葉をいただいた。

引続き生涯学習係の菊池係長より、同窓会にはいきいきコースや推進委員などで区の生涯学習を支えてもらっている。在任してからの２年間、会報を通じて活発な事業報告をしてもらい刺激をうけている。また、昨日シルバー大学の入学説明会があり、コロナで落込んでいた人数が回復し112名でスタートできたことに感動している。楽しく充実した活動をし、未来の同窓会メンバーになって欲しいとのお言葉をいただいた。

4. 議長選出

出席者に議長推薦を図ったところ自薦者はなく、司会者一任により須永桑子氏を議長に指名した。

5. 資格審査

司会者より、会員総数397名中、出席会員35名（含役員19名）、委任状149名、議決権行使はがき77名の合計261名（65.7%）で総会は成立との報告がなされた。

6. 議　事

①第1号議案：2025年度の事業及び会計報告

議案書に基づき、矢野事務局長、春日事業部長、菊島広報部長から実施報告があり、菊島氏からは会報の単価は20円上がるが、本年度は掲載写真をより印象的に伝えられるカラー化を検討するとの決意表明があった。その後、林会計部長から会計報告があった後、菅波監事から「業務並びに会計検査の結果、適正に処理されており妥当である」旨の報告があった。

質疑はなく採択が行われ、賛成多数により原案通り承認された。

②第2号議案：2026年度事業計画及び予算（案）

議案書に沿って保坂会長より説明が行われた。見学会に関しては、コロナ以降大人数を受け入れる施設が少なくなっており、80～100名の参加者受け入れが難しく、計画の変更が生ずる可能性があるとの説明の後、クリスマスコンサートの学校名は、品川「藝術」高校ではなく品川「学藝」高校であると訂正があった。予算に関しては、会費を500円増額したので、昨年度約７万円の赤字が今年度約５万円の黒字になる見通しであるが、会報の郵送代節約のため、役員が近隣会員に約100通をポスティングしている現状説明があった。続いて、以下の質疑応答があった後、採択が行われ、賛成多数により原案通り承認された。

Q:同窓会の会則はどのように周知を図っているのか。

A:新入会員の方へは会報送付時に同封している。会則改定時にも送付する方針である。

Q:2026年度入会者だが、送られて来ないのは私だけなのか。

A:事務局ミスによる送付漏れのため、次回の会報送付時に同封する。



各役員より活動説明

③第3号議案：役員選出

議長より議案書の他に、出席者に役員候補を募ったところ、立候補者はおらず、採択が行われ、賛成多数により原案通り承認された。承認後、保坂会長より新役員20名と監事２名

の紹介があった。その後、保坂会長より、承認された役員で今年度計画された事業等を確実に実施していくので、会員の皆さまのご協力ご支援をお願いしたいと締めの挨拶があった。

7. 閉　会

議長閉会挨拶により第27回定期総会は滞りなく終了した。



2026年度の役員

ひとこと

・一般の大学（学校法人）の同窓会に勝るとも劣らない詳細な報告、活発な討議が行われたとても有意義な定期総会でした。定期総会終了後に親睦会（有料）があると参加者も増えると共に更に有意義な１日になると思います。
・役員の方々のお顔も拝見できて良かったです。しっかりとした運営をされていると感じました。今後もできる限り参加したいと思います。
・ご苦労様でした。会員の出席が少ないようです。関心を持ってもらえるといいですね。
・スムーズな運営で良かった。
・役員のみなさま、今年度もよろしくお願い申し上げます。
・久しぶりの総会に参加し感銘を受けました。
・見学会、講演会は８～９割は参加していますが、定期総会は初めて参加しました。こういう感じなのでしょうか。実際の出席者より役員の方が多いのにびっくりしました。会計報告で見学会、講演会の参加数と実績数の相違があり、（従って収入も）見方がわからないので？ と思いました。
　係より：
　参加者数は役員を含みますが参加費に係る人数には主催側の役員は含みませんので人数は一致しません。
・会員名簿を作成・配布してほしい。
・参加者が少なく質問も１件のみで淋しい総会であった。

2025年度　第６回見学会（バス旅行）

武田神社参拝と 本坊酒造見学に参加して

日　　時：2026年３月18日(水)
　　７：30～17：30
見学場所：“武田神社”と
　　「本坊酒造、マルス山梨ワイナリー」
参加者数：95名



２日前に開花宣言の甲府でした

前日までは暖かでしたが、天気予報では寒の戻りと曇り空。 家を出る時妻に折畳み傘を持っていくよう勧められ渋々リュックに入れましたが、途中ソフトクリームを食す程の好天に恵まれました。

区役所発ALL STAR KANKOバス１号車1010と２号車8080は順調に首都高・中央道を経て『武田神社』へ到着。先ずは恒例の集合写真を鳥居前階段でハイチーズ！

参拝後は境内の御神水の湧き出る姫の井戸、行儀よく並んで水琴窟聞こえた？ 聞こえない？ 私は二度並びましたが御神鶏のコケコッコーか耳鳴りか不調に終わりました。



１号車の皆さん



２号車の皆さん

境内を出ると左手に立派な桜。右手の「かぶとや」さんで信玄ソフトクリームをYさんと食す、まいうーでした。神社を後に車窓より「甲府城跡」の見学、野積みの石垣に特徴ありと添乗員さんの説明。バスの右手に甲府市庁舎、山梨県庁舎を見ながら笛吹川方面へ。途中山越しに台形姿の富士山を見つけ一同感激!!道端下方にはぶどう棚や桃の木、白い花木は梨木かな？ を眺めながら一路ランチへ。

昼食は『山梨FUJIフルーツパーク』メニューは「甲州旬菜四段せいろ御膳」Good. バス仲間の遠い方からおーいビール飲まないの？うんワイナリーで試飲するからねーと聞こえ私も同感。せいろ御膳は皆さん完食、ご馳走様。食後のお買い物、ふと見ると昼食の「こんにゃくてっぽう」等購入仲間でレジ前は長蛇の列。そして今回の本命？『本坊酒造』へ到着、店の方の案内で工場見学。地下貯蔵庫へ入ってみると樽ではなく大きな甕に驚きました。これが九州発本坊酒造の特徴だそうです。

待ちに待ったMARS WINEの試飲。①～⑥まで樽直結のコックを捻ると直ぐ溢れるカップの大きさ。⑥のジュースお代わりしてしまいました。売店では数量限定？ の馬もつ煮、シャインマスカットジャムを購入。すぐ近くの『里の駅いちのみや』に移動。地元の特産野菜は白菜はじめ都会の半値以下。 生信玄餅、苺、水晶等々山梨の特産品でいっぱいでした。

素晴らしいお土産付のバス旅行楽しかったです。役員の方々、添乗員、ベテラン運転手さん、お疲れ様でした。心から感謝申し上げます。

水野政光（2025年入会）



お昼は四段の蒸し物に舌鼓

ひとこと感想

・初めての参加で不安でしたが、良い方と知り合いになれ、ゆとりある時間、美味しい食事と楽しい一日を過ごさせて頂きました。

・盛り沢山で大満足でした。特に昼食はよかったです。

・桜の花も咲いている所がありました。甲州はこれから「花まみれ」華やかな地となります。「武田神社」に健康の願いを頼みました。お世話になりました。

・どうも受付が何とかならないか？　バス会社は良かった。温泉旅行を希望します。

・ワイナリーの試飲は良かったですが、もう２か所位見るところがあったら良いと思います。役員の方がとても丁寧に誘導して頂いて感謝します。



信玄は城を持たずここをアジトとしました



試飲は飲み放題



地下のワイン蔵にはいくらでも！

新役員からひとこと

小松　晟（事務局）



この度新役員にならせていただきます小松です。事務局を担当させて頂きます。大分ボケがすすんで御迷惑をおかけしないよう頑張らせていただきますのでよろしくお願いします。

飯泉　誠（事業部）



シルバー大学同窓会はいろいろな見学会や講演会に参加できて楽しいと聞いていました。今回入会と同時に役員をさせていただくことになりました。会員の皆様が楽しめるよう精いっぱい努めますので、どうぞよろしくお願いします。

内田 又左衛門（広報部）



先輩からのお誘いがあり、この度シルバー大学同窓会役員にならせていただきます。とは言え自分に出来る事は微々たるものかも知れません。広報を担当することになりますが精一杯努めたいと思います。宜しくお願い致します。

出雲付近の巨樹・古木

趣味の一つとして、全国の樹齢千年を超す巨樹を見て回っている。何故かと良く聞かれるが、巨樹を前にするだけで凄い生命力と厳かさを感じると同時に、1,000年以上に渡り変わりなく当該巨樹を育んできた周囲環境があることを知りたいが為である。環境が人為的に損なわれつつある現在、今後の持続可能性や生物多様性のヒントになるのではと考えての事である。多くの巨樹・巨木を持つ我国の寺社林は「鎮守の森」として極めて良く保存され、これらは宮脇博士らにより世界に紹介、そしてchinjyuno-moriは国際的にも通用する言葉となっている。近年の熊の出没以来、しばらく出かけられず禁断症状の私であったが、幸い3月に会議で島根大学を訪問し３泊した序に、出雲市駅を拠点に樹齢1000年の巨樹を３本見ることができた。

一つ目は出雲大社（出雲市）の東側徒歩９分にある命主社の御神木であるムクノキ（樹齢1,000年）である。出雲大社の主である大国主命を様々な危機から守り助けたと言われている神皇産霊神を祭る境外摂社である。地元の人々は「100日詣り」に参拝すると聞く。1,000年を生き続けた生命力と神々しさを感じさせる巨樹である。

二つ目は、出雲市駅から広島に向かう高速バスにて最初のバス停「下熊谷BC」で下車、タクシーで10分程度にある峯寺（雲南市）のスダジイである。環境省巨樹巨木林DB及び現地の標識によれば、幹周/9. 00m、樹高/20m、推定樹齢/1000年とある。全国で８番目のスダジイとの立て札がある。峯寺（みねじ）は真言宗御室派の寺院で、弥山（標高約300m）の中腹にある。これは境内にあ



命主社ムクノキ1000年

る稲荷社の御霊木とされている。地元でもあまり知られてないようで、手入れもほとんどないようだが、凄い迫力で前に立つだけで巨樹の並々ならぬ生命力を感じることができた。



峯寺スダジイ1000年

三つ目は出雲市駅からバスで50分の「須佐神社」（出雲市）にある大杉である。この神社は須佐之男命の御魂鎮めの御社であり、いちばんのパワースポットとしても有名なようで、参拝者が、多くはないが、途切れないようだ。大社造の本殿は県指定文化財で、その後ろに大杉が天に向かって聳え立っている。とても立派な大杉であり、樹齢1300年と言われている。



須佐神社の大杉1300年

内田又左衛門（2025年入会）

川柳雑詠

4月から　チャリの違反も　赤切符　　のぼる
この頃は　偲ぶ集いの　クラス会　　のぼる
五月雨に　似合う蛇の目が　すがたけし　　きくえ
我が足で　歩ける幸せ　今感じ　　きくえ
ボイトレに　目ざめて急に　カラオケへ　　ゆみこ
アポなしで　どこも見事に　振られたり　　ゆみこ

あとがき

2025年の時点では日本の高齢化率は約30％だそうです。驚くことにその高齢者達は体力作り、興味のある事には出費を惜しまないとか。同窓会の行事もそうであるように企画しています。今だから出来る精神で是非ご参加ください。　（J.D）

講演会・見学会のご案内

★A講演会（第1回）
「織田有楽斎が見た『豊臣兄弟とその一族』」
講師　歴史作家　岳　真也氏
日時　2026年6月24日（水）
14時00分～16時00分
受付　13時30分～13時50分
会場　品川区立中小企業センター
3階レクリエーションホール

★B講演会（第2回）
「江戸学『粋な生き方』」
講師　江戸案内人　瓜生　和徳氏
日時　2026年7月24日（金）
14時00分～16時00分
受付　13時30分～13時50分
会場　品川区立中小企業センター
3階レクリエーションホール

詳細内容・申し込み方法
同封のチラシをご参照ください
多数のご応募をお待ちしております。
締切日　2026年6月1日（月）
葉書は消印日有効

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

★今後の行事予定
（詳細は122号でご案内）

・講演会（第3回）
演題　「古事記に学ぶ日本人のあり方」
講師　つだ　ゆみ氏
日時　2026年8月28日（金）

・見学会（第2回）
行先　東京ガスミュージアム
資料館見学（小平市）
日時　2026年9月16日（水）